



“さくらの会”便り

発行責任者
会 長 山本 静子
編集責任者
事務局 長 上原 栄
Tel.0773-22-7859

ーリラックスできて、はげまし合うところ、勇気を与えられるところー

第19回 総 会

講演会・交流会も

新役員は世話役3名



第19回定期総会が4月16日（日）綾部市保健福祉センターにて21名が参加し、開催されました。

総会は、事務局の進行で、山本静子会長の挨拶後、綾部市障害者支援課 課長の四方麻美様の来賓の挨拶を受け、令和4年度の活動報告、会計報告、会計監査報告が承認されました。

また、令和5年度の活動計画（案）、予算（案）が事務局から提案されました。5年度の役員は、世話役、会計、会計監査の変更が承認されました。（役員名簿は、4ページ目）

総会後は、当事者会員の水谷剛志様の講演「高次脳機能障害と私 私の身体が体験してきた事と現在に至るまで」がパワー

ポイントを使用してわかりやすく説明されました。

講演後の食事・交流会は、短い時間でしたが楽しく、交流を深める事ができました。



会長挨拶

会長 山本 静子

新緑がはえ、花々が景色をいろどる季節になりました。日頃は、さくらの会へのご支援、ご協力ありがとうございます。

コロナも少しづつ落ちつき、さくらの会の活動も少しづつではありますが動きだしました。

今年度は対面での事業が実施出来ることを願っています。事業計画の1つに若い当事者の人達に参加して頂き、案をねっていただきます。きっと新風を吹き込んでくれると思います。

一人、ひとりが力を出し合い、支え合い楽しみながらリラックスでき、はげまし合うところを目指して、活動していきましょう。



中丹高次脳機能障害者と家族の会「さくら」
第19回 定期総会



講演に感銘しました

山添 敦子

病気等でここ数年さくらの会から遠ざかっていましたが、今回の総会にやっと出席でき当事者はもちろん私も感慨ふかいものがありました。

皆さんの元気な顔を拝見でき嬉しく思い又当事者の水谷さんの講演は障害者の特性を生かした話の内容でとても感銘を受けました。



年間予定表をいただき皆さんにお会いできることを楽しみにしています。事務局、賛助会員、支援会員様のご指導ご支援にはいつも感謝いたしております。

今後ともよろしく願いいたします。



私も同じ気持ち

山添 智子

水谷さんの講演を聞いていて、自分にも当てはまる体験があって、何度もそうそうと頷いていました。

今まで当たり前に出ていた単純な事が出来なくなる。ちょっとした事にイライラしてしまう。

今のところその感情を向けるのは家族の前だけですが、最近は職場でも特定な人だけではありますが、怒りにも似た感情が湧き出る事があり自分でも驚いてしまい、私はこんな人格になってしまったんだと落ち込んでしまっていました。



会話でストレス発散

森本 康博

「損得絡むと あたりまえができない現実を聞き」大変だなあ…。「皆で会話してストレス発散、『負のループ解消』の場になれば」



みんな頑張ってる

青海 典子

水谷さんのお話の後に皆さんの声がいっぱい聞けて、普段会っていない親類の近況みたいで、引き込まれていました。

今までは、御本人とご家族の大変さが胸に刺さり辛かったけど、今回は日常の大変さを克服して、頑張っておられる様子をたくさん聞かせてもらえて嬉しかったです。

さくらの会の今までの努力が積み上げられたその成果かとも思いました。

水谷さんが武澤先生に出逢われるまで、他の先生達の高次脳機能障害へ



認識があまりにも低い事に驚いたり、ハローワークでの彼の適性検査の素晴らしさに感動したりと、やっぱり、個人や家族の努力だけでは、前に進みにくい現状にも、考えさせられました。



(次ページへ)

(前ページから)

また、心の整理をすることとメモを上手にとることは、加齢者の私にも必要な知恵だし、それを使いこなしておられる若い水谷さんの様子に感心させられました。

本人と家族だけがハラハラドキドキだけではなく、行政サイドの愛情のこもった手助けがあるとないとは、えらい違いで、支援者の存在をひしひしと感じました。

私達もまだまだ声を伝えていかなきゃいけないですね。



これから世話役として

水谷 剛志

新年度最初の【総会】という事もありましたが、大勢の方達と話す機会があり、嬉しく思いました。

又、今年度からは【世話役】として活動をさせていただきますので、宜しくお願い致します。

講演の資料も皆さんの手元に渡っており、ありがとうございました。

まだまだ、話す時間が欲しかった位でした。これからも宜しくお願い致します



支援者として 何故

上原 保子

4月に、前のめりになって、コケてしまい怪我をしました。左肩を強打ぼくで骨は大丈夫でしたが、しかしいつまでたっても、体がだるく肩が痛いのです。しんどい事が他人には見えないのです。

高次脳機能障害の当事者の方は、いつも抱えておられるんだと思いました。

水谷さんのお話を聞いて、自分はなにが出来て、何が出来ないかを自覚し、伝えることの大事さが痛感しました。

行政や医療・リハビリの支援に、当事者の声をこうして、伝えていく事は大事だと思いました。

当事者が声を出す機会も、コロナ禍で激減し、オンラインでは伝わらない事があります。対面での懇談・交流が大事だと思いました。支援者として何が出来なのかと思うのですが。(目が、気力が、体力が年々おとろえています。もうすぐ後期高齢者・・・)

年間行事計画

さくらの会独自行事計画・交流会の予定です。

1. 本多先生を囲んで当事者・家族の研修交流会

(日時) : 令和5年6月18日(日)

10:00~15:00(未定)

(場所) : 綾部市保健福祉センター

2. バス研修交流会

(日時) : 令和5年10月15日(日)

(場所) : 未定

※今後、当事者の皆さんを中心に具体化します。

3. サロン・さくら 新春交流会

(日時) : 令和6年2月25日(日)

10:00~15:00(未定)

(場所) : 綾部市保健福祉センター

令和5年度 役員名簿

会 長	山本 静子
副会長	栗野 勝彦
世話役（綾部）	高倉 涼子
世話役（福知山）	坂本 智
世話役（丹後）	西垣 実樹
世話役（丹後）	山添 敦子
世話役（南丹）	水谷 剛志【新】

※脳外傷・高次脳機能障害リハビリテーション

■京都実行委員会 担当	高橋 宏
顧 問	田中 明

【支援会員】

事務局長	上原 榮
世話役会計	片尾 収作【新】
助成金等	上原 保子
世話役（舞鶴）	大槻 節子
世話役（丹後）	野村 俊彰
世話役（便り担当）	藤原 勲
世話役・会計監査	上原 保子
世話役・会計監査	柴田 直美
	黒木 広宣【新】

鳥取に 転勤しました

門 祐輔先生（元京都協立病院）から転勤のメールがありました

「無沙汰しています。」
私は、綾部を離れ四月から、鳥取生協病院で仕事をしていますが、少しずつ新しい環境に慣れているところです。
当事者が声をあげること、具体的に職場を改善していくことは、重要であると、あらためて感じました。
「コロナをはじめいろいろ大変だとは思いますが、引き続き「さくらの会」の御発展を祈念しています。」

【編集後記】

- ▼図書館で関係する本を調べてみました。
- ▼「やってみよう！こんな工夫；高次脳機能障害への対応事例集」いちど読んでみたいですよ
- ▼「リハビリスタッフ・支援者のためのやさしくわかる高次脳機能障害者」参考になりそう。
- ▼その他たくさんありました【F】
- ▼家族だから、わかっていると
思わないで、「ありがとう！」という言葉を、家族に一番たくさん
言う言葉かなと思います。
- ▼身近だから、言っていないの
では・・・他人には、「ありがとう」と言っているだけでも、家族には、
なおざりになってのでは
- ▼「母の日」「父の日」のとき
だけでなく、家族に感謝の気持ち
を伝えていければ・・・
- ▼新聞記事に、出来たことを「ほ
められる」事は、どんな小さなこ
とでもうれしくなると。家族で気
を付けたいと思った【U】